

令和5年度東海市大学連携まちづくり推進事業費補助金採択事業一覧

別紙

NO	事業名	新規 継続	事業概要	実施主体	申請者
1	スポーツの楽しさ発見！	新規	東海市民のスポーツ振興に貢献することを目的として、地域との交流ができるスポーツイベントを開催する。スポーツの楽しさを実感することで、身体を動かすことが苦手だった方も含め、精神的ストレスの解消と身体活動量の増加による健康維持・増進が期待できる。また、地域住民を対象とした実践の場として、学生にとっての教育へも活用できる。	教員	星城大学 スポーツマネジメント分野 北田 友治
2	こどもドローンプログラミング体験教室	新規	デジタル社会に向けた子どもたちの好奇心を高めること及びインフラとして定着が想定されるドローンの正しい知識の普及を目的として、子ども向けドローン教室を開催することで、ドローンの操作と本格的なプログラミングを楽しみながら自然と学ぶことができる。	教員	星城大学 観光・まちづくりゼミ 野場 惇平
3	星城大学留学生による東海市民のための文化講座開催事業	継続	東海市民の多文化共生意識を高め、誰もが住みやすいまちづくりに寄与すること及び星城大学留学生の東海市への帰属意識を高め、将来の東海市での就職や定住を促進することを目的として、星城大学留学生別科及び経営学部の留学生が東海市民に自国の文化、習慣、言語を紹介する講座を開催する。	教員	星城大学 留学生別科 林 エミ
4	心と体の発達のための乗馬体験	継続	子どもたちの心身の健康の保持増進及び自尊心の向上を図るため、東海市内の小学生を対象に大池公園にて「乗馬療育」を実施し、市内児童の心と体の健康増進に繋げるもの。	教員	星城大学 リハビリテーション学部作 業療法学専攻 林原 千夏
5	その子らしさを伸ばすための支援	継続	発達障害や引きこもりなどが原因で運動が苦手な子どもたちを対象として、感覚統合遊具を用いた運動能力の向上のための活動を通じて保護者に対する支援方法の指導を行い、子どもの発達を促す上での対応や配慮、生活上の注意点について必要なレクチャーを行う。	教員	星城大学 平井 秀雄
6	「SDGsを市民の合言葉にしようpart-4」プロジェクト	継続	自分事としてSDGsに貢献できるような行動を促進するため、企業・NPO・市民等へのインタビューや新聞の作成、理解促進のためのツールの試作、東海市版ローカルSDGsの作成、市内各種イベントでのブース出展と展示等を通じて、市民に対して共感をもってSDGsの意義と役割をPRする。	教員	日本福祉大学 千頭ゼミ 千頭 聡
7	東海市イングリッシュ・サロン	継続	英語や英語を使用する国の文化について楽しく学びながら、市民間の異年齢交流の促進を図るために、大学生をファシリテーターとした英語コミュニケーション活動や留学生のプレゼンテーションにより文化的背景に触れる文化交流会など、小学生から大学生、そして地域の大人との協働によるイングリッシュ・サロンを開催する。	教員	日本福祉大学 国際福祉学部米津ゼミ 米津 明彦
8	地域日本語教育ボランティアを対象とした勉強会の開催	新規	東海市国際交流協会と連携し、市内在住の外国人を対象とした日本語教室で使用する教材の見直しと今後の進め方の検討を行うため、地域の日本語教育におけるパラダイムシフトと、これに伴い開発されている新しい日本語教材についての勉強会を開催し、ボランティアの皆さんで考えていただく場を提供する。	教員	日本福祉大学 国際福祉開発学部 田中 真由美
9	大規模自然災害に備えよう！キャンプのノウハウを活かした「防災キャンプ」で被災後の生活に必要な知識や技術を学ぶ ～「被災生活のQOL維持・向上」に関する備え～	新規	防災キャンプのアクティビティを取り入れながら、市民が被災後の生活のQOLを維持、向上する知識、技術を得ることや、減災に対する能動的な姿勢を醸成することを目的として、コミュニティの自主防災訓練においてブースの設営や講習などを行い、意識調査や減災講習、訓練等を行う。	教員	日本福祉大学 災害ボランティアセンター 高村 秀史
10	2023太田川駅前ミュージアム	継続	東海市民に芸術を通じたふれあいと体験の場を提供するため、太田川駅前広場においてシルクスクリーンを利用した作品の展示及びシルクスクリーンの原版の作成からプリントまでの全工程を体験できるワークショップを開催する。	教員	日本福祉大学 経済学部 原田 忠直

令和5年度東海市大学連携まちづくり推進事業費補助金採択事業一覧

別紙

NO	事業名	新規 継続	事業概要	実施主体	申請者
11	東海市横須賀地区における伝統的なまちなみ再生プロジェクト	新規	地域の資産を活用したにぎわいの場の創出として、景観まちづくりに関する住民意識向上や歴史的なまちなみの再生に取り組むことを目的に、横須賀地区の歴史を尊重しつつ、まちなみ再生の具体的な手法として建物の外壁の一定面積を木質化する手法を導入することで、地域の魅力を再構築し、優れた住環境・景観を持ったまちづくりを行う。	教員	日本福祉大学 建築バリアフリー専修坂口 大史研究室 坂口 大史
12	交通シミュレーションを用いたモビリティ・マネジメント手法の提案	新規	総合交通戦略の実現のためには、環境や住民の健康を配慮し、多様な交通手段を選択する意識の向上や、公共交通ネットワークの充実を図ることが課題となっている。本事業ではこの課題を解決するために交通シミュレーションを活用し、自家用車だけに依存しない交通システム全体の最適化を行う。また最適化を通して得られた結果を分析し、今後の交通政策の改善や、より効果的な交通インフラの整備に活用する。	教員	日本福祉大学 健康科学部情報工学専修 人工知能研究室 串田 淳一
13	東海市民×につぶく生農業応援交流プロジェクト～心も体もポトフで温まろう～	新規	東海市の農家さんの様子や農作物の美味しさや魅力を、SNS等で情報発信を通して、地域の人に知ってもらうことを目的として、イベントを開催するとともに地産地消の美味しいポトフを味わってもらう交流を通して、農業や農作物に関心をもってもらおう。	学生	日本福祉大学 経済学部 吉田ゼミ 浦上 優菜
14	ユニバーサルデザイン「枠のないデザイン」	新規	障がいの有無にかかわらずファッションを楽しめることが、皆がいきいきと生活できることに直結すると考え、障がいを持っている方(特に車いすを使用されている方)も、健常者の方とともに「おしゃれ」を楽しめる「小物入れ」や「バッグ」の制作を行い、ファッションをみんなのものにするとともに、福祉を生かした若者も楽しめる産業の掘り起こしに資するもの。	学生	日本福祉大学 「枠なきところに福来る」 劉 家佑
15	東海太田川駅西土地区画整理事業計画地を仮想敷地とした公園の提案～ヒメボタルが生育できるSDGsに資する東海市の未来の公園～	新規	東海市内の開発予定地周辺(周辺社寺林や加木屋緑地等)の自然環境、生息する生物を調査し、他地域での先行事例調査、実地調査を行った上で、立地環境や地理的状況、面積の条件が合う当該土地区画整理地内の緑地をモデルとした生物多様性向上に寄与する未来の公園(緑地)を考えると同時に、市内に生息が確認されているヒメボタルの生息も意識し、将来、市内で新たな公園を整備する場合の参考として提案を行う。	教員	日本福祉大学 福田秀志研究室 福田 秀志